



2023年を迎えた長沼地区の様子【日本 長野】

修復中の堤防・移転予定の天王宮・河川防災ステーション予定地・どんど焼き

本号の記事

■ お知らせ

3月24日、第1回フィリピン学校防災トークイベント（オンライン）開催！[参加者募集中](#)

■ 日本

▼本部：第2回 My Hometown アジア子ども会合の開催

▼本部：SEEDS Asia 2030年計画の中間レビュー会合の開催

▼本部：「第9回アクサ・ユネスコ協会減災教育プログラム 減災教育フォーラム—減災教育を地域に広げ、未来につなげる」への講師派遣

▼本部：鳥羽小学校への講師派遣

■ フィリピン

JICA草の根技術協力事業「中部ビサヤ地方における学校防災強化・推進事業」

▼キックオフセミナーの開催と、兵庫県教育委員会職員とEARTH員の現地派遣

▼第1回 学校防災タスクフォース集合！

■ ミャンマー

▼子どもたちの教育継続支援の実施とご協力をお願い（継続）

－お知らせ－

フィリピン学校防災トークイベント

「第1回 テーマ：先生、なんでフィリピンいくん？ーJICA草の根技術協力事業『中部ビサヤ地方における 学校防災強化・推進事業』の派遣報告ー」（オンライン）



フィリピン中部に甚大な被害をもたらした巨大台風ハイエン（ヨランダ）から、今年の11月で10年を迎えます。

SEEDS Asiaは、被災したセブ島で緊急支援を実施し、2014年から兵庫県教育委員会と連携しながら、JICA草の根技術協力事業にて、学校防災支援活動を展開してきました。上記の記事のとおり、1月に兵庫県教育委員会の職員並びにEARTH員の方々の現地派遣をおこないましたところ、現地での防災教育・防災管理の様子や、被災から10年の歩みを、「フィリピン学校防災トーク」としてご報告いたします。フィリピンの暮らし・防災・教育、国際協力について、ご興味のある方、是非ご視聴ください。

■日時 2023年3月24日 15:00～17:00

[イベント案内チラシ \(PDF\)](#)

■申し込み方法

Google Formにてお申込みください

<https://forms.gle/LoA5AJQVLqwHaGzi9>

■プログラム（予定）

14:50 オンライン開場

15:00 開始・趣旨説明

15:05 ①台風ハイエンからの10年と活動概要

15:25 ②JICA草の根技術協力事業

「中部ビサヤ地方における学校防災強化・推進事業」の概要

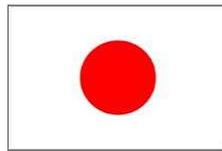
15:45 ③1月の現地派遣報告（兵庫県教育委員会1名・EARTH員1名）

16:05 ④オープンディスカッション、質疑応答

17:00 閉会

■場所 オンライン（Zoom）開催

お申込みいただいた方にリンクをお送りします



日本

▼第2回 My Hometown アジア子ども会合の実施

キーワード：子ども、主体的な防災・減災への取り組み、異文化コミュニケーション

▼SEEDS Asia 2030年計画中間レビューの実施

キーワード：2030年計画、仙台防災枠組み、中間レビュー



本部：第2回 My Hometown アジア子ども会合の開催

阪神・淡路大震災から28年目を迎えた1月17日、オンラインで「My Hometown アジア子ども会合」の第2回目を開催しました。このイベントは、まちの魅力と防災の取り組みを紹介しながら交流するイベントで、今年は3か国5校の子どもたちが参加しました。

このイベントは、①多様な背景の児童同士のコミュニケーション能力を育てること、②参加児童のふるさと愛を促すこと、③持続可能な開発目標に関する国際交流の場を創出することを目的として実施しています。2022年度は、5校（バングラデシュ：モデルアカデミー校、長野県：長野市立長沼小学校、兵庫県：洲本市立中川原小学校、フィリピン：セブ州サン・フェルナンド中央小学校、三重県：鳥羽市立鳥羽小学校、アルファベット順）が参加し、それぞれの学校から7分間の発表が行われました。どの学校の子どもたちも地域の特色や歴史を一生懸命に英語や日本語で説明してくれました。また、質疑応答の時間には給食についての質問があり、地域の特産物を活かしたメニューの紹介もありました。

まちの良いところを発見し、国内外に発信することで、「これからもこのまちに暮らし続けたい」、「このまちを守りたい」、「だから防災・減災に取り組んでいきたい!」という主体的な防災・減災活動への意欲を高めると同時に、地球規模の共通課題について考え、小さなことから取り組むきっかけとなることを期待しています。 [👉 詳細はこちら](#)



本部：SEEDS Asia 2030年計画の中間レビュー会合の開催

SEEDS Asiaは、設立から10周年を迎えた2016年に「SEEDS Asia 2030計画」を策定し、2017年から施行してきました。この間、計画策定当時には想定していなかったコロナ禍や、事業地でのクーデター、そして円安等、事業の継続性を揺るがすような事態も多く発生しました。このような教訓と、世界情勢の変化や多様なリスクを踏まえた計画の改訂が必要となっています。

2023年は、その中間の年であることから、1月28日に「中間レビュー会合」が開催され、理事や顧問、事務局スタッフが集まりました。計画の達成度や課題を振り返り、今後の活動の方向性や重点について意見交換が行われ、新しい手法や方策の検討が提案されました。

まずは5月に開催を予定している理事会にて改訂版が協議され、承認を以て施行・公開する予定となっています。 [👉 詳細はこちら](#)



本部：「第9回アクサ・ユネスコ協会減災教育プログラム 減災教育フォーラムー減災教育を地域に広げ、未来につなげる」への講師派遣

2023年2月11日、「第9回アクサ・ユネスコ協会減災教育プログラム減災教育フォーラム」が開催され、SEEDS Asiaの理事（及川幸彦准教授）・アドバイザー（上田和孝准教授）・事務局長（大津山光子）が、それぞれ全体コーディネーター/総括役・講師・パネリストとして登壇しました。

当フォーラムは、公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟主催、アクサ生命保険株式会社並びにアクサグループ協賛、文部科学省後援によるもので、気仙沼市における東日本大震災以降のESD（持続可能な開発のための教育）をベースにした復興・防災教育の経験・教訓を伝えることにより、今後の減災教育の推進と持続発展に向けたさらなる学びと交流を深めることを目的として開催されています。今年はハイブリッドで開催され、会場（於：東京）・オンラインを合わせ217名が全国から参加しました。

第9回目となりましたが、当初から一貫していることは、防災・減災教育は持続可能な社会の実現に不可欠であり、ESDの一環として展開することが有効であるということ。狭義の「防災教育」すなわち自分の命を守るためのサバイバルやHow toの方法論に留まらず、防災・減災教育を切り口として、多角的な視点を持ち、主体性に課題解決に取り組む持続可能な社会・まちの担い手を育成する、というSEEDS Asiaの目指す防災・減災教育の在り方と、当プログラムの特徴には親和性があります。

本フォーラムは、私たちにとても防災・減災教育に関心を寄せる全国の先生方・皆様との出会う貴重な機会となっています。日本ユネスコ協会連盟の皆様、アクサグループの皆様、参加校の皆様に改めて深く感謝申し上げますと共に、このフォーラムから、さらなるつながりと学びが生まれることを願っています。👉[詳細はこちら](#)



本部：鳥羽小学校への講師派遣

SEEDS Asiaのテクニカルアドバイザーで滋賀大学の特任教授である岸田蘭子先生と、事務局長の天津山光子が講師として、鳥羽市立鳥羽小学校の教員研修会でカリキュラム・マネジメントについて研修を行いました。今回の研修の目的は、「来年度に向けて、年度末までに何をすべきか」を明確にすることにありました。岸田先生は、「持続可能なカリキュラムの構築—パールカリキュラムが創る鳥羽の未来—」と題した講義を行い、主にカリキュラム評価の在り方についての指導がありました。事務局長の天津山からは、「経験学習モデルをカリマネに活かす—よりよい次の一年のために—」と題し、計画の振り返りと共有された課題の改善に向けた、具体的なツールや手法を紹介しました。鳥羽市立鳥羽小学校は、全校で「鳥羽っ子学習—命をつなぐ子鳥羽をつなぐ子—」というテーマに基づくESDカリキュラムを展開しています。約3年にわたり、カリキュラム・マネジメントの研修で関わらせていただきました。本研修がよりよい一年、そしてその先の未来に役立つことを願って止みません。👉[詳細はこちら](#)



フィリピン

▼中部ビサヤ地方の学校防災推進体制の整備・強化を支援しています。

キーワード：包括的学校防災、兵庫県教育委員会、EARTH、JICA、研修プログラム、学校防災学校防災推進計画、気象教育、伝承

※本活動はJICA草の根技術協力事業（地域活性化型）の支援により実施しています。



キックオフセミナーの開催と兵庫県教育委員会職員・EARTH員の現地派遣

SEEDS Asiaは、2013年にフィリピンを襲った台風ヨランダ（国際名：ハイエン）の被害から、フィリピンの中部ビサヤ地方の学校防災支援事業を展開しています。中でも、兵庫県教育委員会とは長期的なパートナーシップを組み、JICAの草の根技術協力事業のスキームを活用しながら、現地教育省による学校防災を強化するプロジェクトを段階的に実施してきました。

昨年11月に「フィリピン国中部ビサヤ地方における学校防災強化・推進事業」が第3フェーズとして開始したところ、今年1月6日に教育省第7地方事務所や管轄下の地区事務所・学校関係者を対象とするキックオフセミナーを開催しました。

本セミナーには、南あわじ市立福良小学校の教諭である山崎温加先生と、兵庫県教育委員会事務局教育企画課の畠中健氏が現地に派遣され、兵庫県の学校防災の取り組みやEARTH（※）員の役割や育成制度、学校での防災活動を紹介した他、タリサイ市タブノック小学校、バリリ地区パトゥパット国立中高校の学校訪問を行いました（本ニュースレター冒頭の「お知らせ」箇所掲載写真）。

セミナーの冒頭では、JICAフィリピン事務所柳内次長よりご挨拶をいただき、JICAが展開する防災分野におけるハード整備やシステム構築事業との相乗効果を含め、JICA×行政×NGOというオールジャパンとしての期待が述べられました。また、現地教育省本省防災管理室の職員からは「本事業に教育省副次官補も着目している、将来的には全国で展開するモデルにしたい」との大きな期待が述べられ、職員一同、背筋が伸びる思いもいたしました。本事業に取り組む過程で、人と人がつながり、まちとまち、そして国と国のつながりが深まることを願って止みません。 [👉詳細はこちら](#)

（※）**Emergency And Rescue Team by school staff in Hyogo**・震災・学校支援チームは、防災・減災に関する専門的な知識や実践的な対応力を備えた兵庫県内の教職員のチームのこと

フィリピンの災害リスクと重点課題：

フィリピン共和国は毎年20以上の台風に見舞われるとともに、環太平洋火山帯の真上に位置する島嶼国です。気候変動を含む要因により自然災害のリスクが年々高まっている一方で、未発達な都市計画に基づいた開発によりインフラは整備されておらず、洪水や土砂災害の被害も甚大化しています。2010年には同国で「防災法」が制定され、教育省含む行政機関による防災管理部署の設立が義務となったほか、2015年には教育省単独でも行政から学校単位に及ぶまでの防災体制の強化が法律として定められました。

法整備が進む一方、特に学校レベルでの防災への取り組みにはまだまだ時間がかかると見込まれています。学校防災の強化においては国際的な「学校安全のための包括的フレームワーク」が採用されており、I. 学校建物の強化、II. 学校防災管理体制の強化、III. 防災教育の強化、という3つの柱で推進されています。



第1回学校防災タスクフォース集合！

2月3日、フィリピンにおけるJICA草の根技術協力事業「中部ビサヤ地方における学校防災強化・推進事業」（兵庫県教育委員会との協働事業）の中心・アドバイザーグループとして活動予定の「学校防災タスクフォース」の顔合せ・ミーティングをしました。

本事業では、2014年から兵庫県教育委員会と協働で同じ草の根事業として実施してきた学校教育・災害管理の経験を踏まえ、過去の災害伝承や現在の気象リスクといった新しい視点を取り入れた学校防災研修パッケージを開発し、中部ビサヤ地方全ての学校で同様の研修ができるよう教育省第7地方事務所として計画を策定することで、学校防災を推進していくことを目指します。

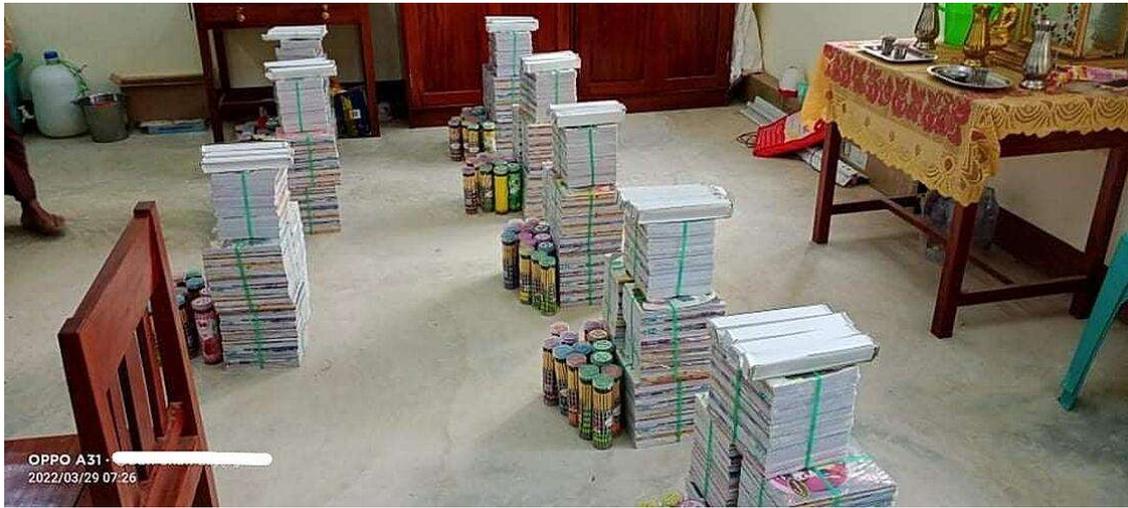
ゴールに向けてSEEDS Asiaと密に連携するタスクフォースは、全てこれまでの事業を通じて学校防災の経験を積んできた方々ばかりです。今後も定期的に話し合いを重ね、効果的な事業推進を目指します。 [👉 詳細はこちら](#)



ミャンマー

▼複合的リスクの中にある児童の教育機会の確保にご協力をお願いします。

キーワード：被災地への緊急支援（個人寄付・団体寄付募集）



子どもたちへの教育継続支援実施と協力をお願い（継続）

ミャンマーでは、コロナ禍と政情不安の中、約2年間にわたり学校が閉鎖していました。このままでは、貧困の深刻化など、潜在的な社会課題が大きく膨らみ、より災害に脆弱な状態に陥ることが懸念されます。

長期的な視野に立ち、ミャンマーの未来と「学びたい」という子どもの希望を、温かいお気持ちで支えてくださいますよう、どうぞ、皆様お力添えのほど、よろしくお願い申し上げます。

[詳細記事はこちら](#)

バックナンバーを読む

アジアの防災・被災地の復興を応援しませんか

SEEDS Asiaの活動は、皆さまからのご支援によって成り立っています。寄付金は、SEEDS Asiaの活動全般へのご支援として、アジア各地での環境・防災、被災地の復興に向けた活動に活用させていただきます。

尚、弊団体は認定NPO 法人格の交付を受けており、個人・法人からでも ご寄付額に応じて税法上の優遇措置（税額控除対象）を受けることができます。

皆さまからのあたたかいご支援・ご協力をお願い致します。

▼活動に賛同する

銀行振り込みのほか、クレジットカードによるオンライン決済、携帯電話料金との同時引き落としも可能です。ご不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

銀行振込

三井住友銀行 岡本支店
口座番号：普通 0571188
口座名義：特定非営利活動法人SEEDS Asia

郵便振込

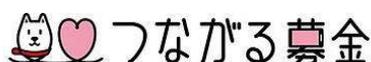
口座番号：00960-7-207240
口座名義：特定非営利活動法人 SEEDS Asia <トクヒ> シーズ アジア>

オンライン決済

下記のロゴをクリックしていただくか、こちらの日本財団による[CANPAN](#)（オンライン決済のページ）、あるいは[ソフトバンクのサイト](#)にてお願い致します。

注：決済システム上、領収書（税額控除対象証明書）の発行が時期によってはご寄付から約1か月後となりますこと何卒ご了承ください。

尚、ソフトバンクサイトでのご寄付につきましては、自動的に匿名扱いとなってしまうこと、何卒ご了承くださいませ。



賛助会員・インターン・ボランティア・ を募集しています！

▼賛助会員になる

SEEDS Asiaは賛助会員（一口3,000円）を募集しております。毎月のニュースレターの他、SEEDS Asiaが主催する様々なイベントへのご案内や特典、実施国の情報等を受け取ることができます。

▼正会員になる

防災支援に関わる技術や専門性、活動を通じた支援が可能な方は正会員（一口10,000円）となつていただき、緊急支援調査チームや防災啓発イベントの運営をお手伝いください。

▼イベントに参加する・講演会の実施

国内においても、防災キャンプや講演会、啓発イベントなど災害に負けない人づくりの支援を実施しています。講師派遣も行っておりますので、ご検討いただける方はrep@seedsasia.orgまでご連絡ください。[過去のイベントはこちら](#)

▼インターンになる

国際協力や環境問題の改善、環境問題・防災/減災・復興まちづくりに興味があり、活動を共に支えてくださる方々を歓迎しております。是非ご連絡をお願いします！

▼ボランティアをする

イベント活動や翻訳などのお手伝いをしていただける方を募集しております。SEEDS Asiaに興味を持っていただいた方、SEEDS Asiaの事業地や、環境問題・防災/減災・復興まちづくりに興味を持たれている方は、是非ボランティア登録を行ってください。翻訳が必要になった時やイベントの実施に合わせて随時事務局からご連絡いたします。



ニュースレターは会員の皆様その他、関係者の皆様、スタッフと交流させていただいた皆様にお送りしております。ご変更の場合は、お手数ですが本メールまでご返信ください。

認定NPO SEEDS Asia 日本658-0072 兵庫県神戸市東灘区岡本1-7-7-307 TEL 078-766-9412

[配信停止](#) [配信設定を変更](#)

今すぐ無料でEメールを送信

HubSpot